

様式 4

平成 29 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立米子白鳳高等学校
 学校長 上田 祐二

評 価 日	平成 30 年 1 月 27 日 (土)	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒一人一人を大切にし、生徒が安心して学校生活を送れるよう、教職員間や様々な関係者との連携と情報共有が図られており、手厚いサポート体制が感じ取れる。 ・体験活動や地域との交流などの取組が数多く実施されており、それを通して生徒を成長させようとする学校の狙いがよく理解できる。 ・講演会や事業所見学など、進路実現に向けたキャリア教育が実践されている。 <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来年度からの「特別支援教育」重点校が地域や周りから偏ったイメージを持たれないよう、正確な説明が必要だと感じた。 ・学校ホームページにより、緊急連絡や日頃の活動の様子が、分かりやすく伝わってくる。 <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会では、生徒それぞれの個性が活かされた、一人一人が埋もれない取組、発表内容となっており、米子白鳳高校の良さを感じた。 ・淀江には様々な文化や歴史があり、それをうまく取り入れた教育活動が展開されている。地元の人材育成にも繋がり、今後も是非活動を継続していただきたい。 <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「通級」指導について、一人一人それぞれ違った支援が必要とされているので、学校で関わる先生方はそれを共通認識しておかなければならない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各課程会議や教職員間での情報共有を密にし、より一層連携強化を図る。 ・活動、交流を通して、自己肯定感を育てたい。 ・社会的自立を目指した取組を継続実施する。 ・「特別支援教育」を含めすべての生徒を大切に、個に寄り添った支援の取組の様子や、その他有用な情報をきめ細やか、かつ速やかに発信する。 ・今後も地域との関わりを大切に、生徒にとって興味、関心が持てる体験型活動を中心に取り組み、「学ぶ意欲」の喚起・育成に努めたい。 ・「通級」指導では「コミュニケーション能力」の育成に重点を置き、教職員共通理解のもと実施していく。 	